

# 鳥取労働局長がベストプラクティス企業 「日本海運輸有限会社」及び「日段株式会社」 と意見交換を行いました！

鳥取労働局では、時間外労働の削減をはじめとする働き方改革に積極的に取り組む「ベストプラクティス企業」と意見交換を行い、取組事例を収集するとともに、その取組について県内の企業に広く紹介しています。

令和6年度は、荷主と協力して長時間労働の削減をはじめとする働き方改革に積極的に取り組んでいる貨物自動車運送業の企業（「運送企業」）とその荷主（「荷主企業」）を「ベストプラクティス企業」として、両企業と鳥取労働局長及び鳥取運輸支局長の4者で意見交換を行いました。

## ○令和6年度ベストプラクティス企業

### <運送企業>

- (1) 名称：日本海運輸有限会社  
（以下「日本海運輸」）
- (2) 所在地：鳥取市古海308－2
- (3) 代表者：代表取締役 楮原 章吾
- (4) 従業員数：27名
- (5) 事業内容：物流事業  
倉庫事業  
物流支援事業 など

### <荷主企業（発荷主）>

- (1) 名称：日段株式会社  
（以下「日段」）
- (2) 所在地：鳥取市古海531
- (3) 代表者：代表取締役社長 山川 正人
- (4) 従業員数：160名
- (5) 事業内容：段ボールシート製造  
段ボールケース製造  
包装資材の販売 など

## ○意見交換について

令和6年11月27日（水）に日段本社を鳥取労働局長および鳥取運輸支局長が訪問しました。当日、日本海運輸からは楮原代表取締役、日段からは川見常務取締役営業本部長他3名の方にご対応いただきました。

まず、川見常務取締役から日段の会社概要をご説明いただき、また楮原代表取締役から両社の取組などについて伺いました。その後、日段の工場内の見学もさせていただき、段ボールの製造から出荷までの一連の流れを確認し、その後意見交換を実施しました。



【意見交換の様子】

## ○主な取組の内容・成果

### 1 定期的に配送に関する会議を実施【日本海運輸と日段の取組】

日本海運輸と日段が年に数回「配送検討会議」を開催し、現状の配送（積み込みや荷下ろし）における問題点の共有などを行っている。製造～納品までの全ての段階で最適化を図る必要があるため、日段において、経営陣、製造部門、営業部門、出荷部門と様々な分野の社員が出席し、改善に取り組んでいる。

また、日段から着荷主企業に依頼し、納品時間の緩和に協力いただくことでドライバーの早出時間の削減が可能となり、時間外労働を一人当たり10～20時間/月削減。

### 2 共通パレットの導入【日本海運輸と日段の取組】

パレットを導入することで荷役作業を大幅に簡略化し、荷役作業時間を3分の1に改善するとともに、荷役作業時の荷物の破損など荷物事故をゼロにすることができた。

パレットの導入に伴う、着荷主との調整やパレット購入費用の負担などの課題に対して、費用を日段が負担するなど、荷主企業が中心となって調整を行うことで出荷から到着まで一貫したパレット輸送を実現した。

### 3 運賃の改定【日本海運輸と日段の取組】

日本海運輸と日段の間で5年ほどの期間で3度の運賃改定を実施。これによりドライバーの賃金引上げを行うことができ、社員の定着や若返りに寄与している。

### 4 人材確保への取組【日本海運輸の取組】

- 自社でドライバーの拘束時間や時間外労働時間を日ごとに簡単に把握できるシステムを開発し、給与計算などを効率化
- 荷役作業時間を軽減するために、トラック荷台床が前後に動く設備を導入
- 仕事と生活の両立を図りやすい雇用環境を整えるための自主行動計画を策定し、子どもの看護休暇や子どもの学校行事への参加、介護休業の取得等を積極的に支援
- 希望に応じたキャリアを実現しにくい点が運送業界の人手不足の一因と考え、グループ会社とも連携し職種（短距離や長距離ドライバー、総合職）間のキャリアアップやキャリアチェンジできる制度を整備
- トラック運転免許取得費用を全額会社負担



【日段・川見常務（左）と日本海運輸・楮原代表（右）】



【段ボール製造工場の見学】



【配送に使用しているパレットや荷台床が動くトラック】

## ○意見交換の主な内容

Q 新規に入社するドライバーの方はどのような点に魅力を感じているか？ 賃金引上げの影響が大きいのか？

A 20歳代のドライバーはキャリアアップできる仕組みに魅力を感じる方が多く、30歳代のドライバーは決まった時間に毎日家へ帰ることができる点に魅力を感じる方が多い。賃金の引上げはどちらかというところ離職防止に寄与している印象。

Q 新規に入社するドライバーのうち、トラックの運転免許を既に所持している人はどれくらいか。また、入社してから免許を取得するまでどのような業務を行うのか。

A 1割程度は入社時に所持しているが、9割は所持していないため入社後に1～2か月かけて取得する。ドライバーの業務は運転だけでなく、荷物の積み込みなど覚えるのに時間がかかるため、免許取得と並行してトラックに同乗し研修を行っている。

Q 荷待ち時間の削減やパレット輸送に向けた取組など、業界の動きはどうか？

A 少しずつ改善している印象だが、荷待ち時間の削減などに当たっては発荷主だけでなく、着荷主の理解や協力も必要。場合によっては、荷主だけでなくその上の商社など多くの関係者の協力が必要になることもあるため、トラックGメンの活動に期待している。



【左から徳本運輸支局長、平川労働局長、楮原代表取締役、川見常務取締役】

## ○意見交換を終えて平川局長からのコメント

運送企業と荷主企業が協力して荷待ち時間の削減やパレット輸送などの効率化に取り組んでおり、これらの取組によりドライバーの方の働き方改革だけでなく、処遇および人手不足の改善にも寄与する素晴らしい事例でした。

一方業界としては発荷主だけの協力ではなかなか改善が進まず、着荷主やそれ以外の方の理解や協力も必要という声もあり、労働局としても周知などに取り組むとともに、県内企業におかれても積極的な取組をお願いいたします。